

科目名	スポーツ外傷・障害の基礎知識 2							年度	2026
英語科目名	Introduction to Sport Injuries and Pathologies 2							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制 2年次	必/選	選 1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	安・長谷川		教員の実務経験	有	実務経験の職種		スポーツドクター		

【科目の目的】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーとして働くために必要な知識を身につける勉強をしていきます。本講義では日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが行う、選手の動作の運動学的観察、スポーツ障害の評価、アスレティックリハビリテーションなどのトレーナー活動に最低限必要な人体の構造と機能について理解します。そのために運動器の骨、筋、靭帯、関節、神経支配と身体運動とを関連づけて学習することとします。

【科目の概要】

スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。

【到達目標】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格試験合格を目標とします。日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー理論試験の「スポーツ外傷・障害の基礎知識」領域の問題が解けるレベルまで知識を修得する。

【授業の注意点】

授業時には必ずテキストを準備してください。わからない部分はその都度質問をしてください。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 B	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 C	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト/授業内容に合わせて資料を配布

【参考資料】

配布プリント

【成績の評価方法・評価基準】

レポート課題・筆記試験・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ外傷・障害の基礎知識 2			年度	2026		
英語表記		Introduction to Sport Injuries and Pathologies 2			学期	通年		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価		
1 2	上肢の怪我	上肢の外傷・障害の病態理解	肩関節の外傷・障害	1 肩関節前方脱臼について	1			
				2 腱板損傷について				
				3 肩鎖関節脱臼について				
				4 投球障害について				
				5 肘の外傷・障害				
				6 手関節・手指の外傷・障害				
3 4	体幹の怪我	体幹の外傷・障害の病態理解	体幹の外傷・障害	1 頸椎捻挫について	1			
				2 バーナー症候群について				
				3 頸椎ヘルニアについて				
				4 腰椎椎間板ヘルニアについて				
				5 腰椎分離症について				
				6 筋・筋膜性腰痛について				
5 6 7 8	下肢の怪我	下肢の外傷・障害の病態理解	下肢の外傷・障害	1 肉離れ・打撲について	1			
				2 膝関節ACL・PCL・MCL損傷について				
				3 膝半月板損傷等について				
				4 5	膝蓋骨脱臼・アキレス腱炎などについて	1		
								6 下腸脛靭帯炎・、鷲足炎などについて
				7 8	膝蓋大腿関節障害などについて	1		
								7 腓腹筋肉離れ、アキレス腱断裂について
								8 過剰骨障害などについて
				9 10	疲労骨折・扁平足などについて	1		
								9 足関節捻挫について
				11	その他、外傷・障害について	1		
9	重篤な怪我	重篤な外傷の病態理解	2 重篤な外傷	1 頭部外傷について	1			
10				2 脊髄損傷について				
11				3 大出血を伴う怪我について				
12	年代・性別による怪我	年代・性別による怪我の理解	年代・性別による怪我について	1 女性の怪我について	1			
13				2 高齢者の怪我について				
14				3 発育期の怪我について				
15				4 年代別・性別の怪我について				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等